

できる、高度専門職業人・研究者・教育者となる人材を養成する。

＜学習の到達目標＞

1. ＜専門能力・学識＞地域の技術系産業分野に関して、主体的に研究・開発活動を実施できるレベルの高度な専門知識・技能・研究遂行に関わる倫理観を有している。
2. ＜研究・開発能力＞自らの学識と俯瞰的視野に基づいて、社会の様々な課題の本質を分析し、高度な調査・研究・開発の過程を通じて、課題解決を主導し、その成果を発信することができる。
3. ＜社会とのかかわり＞科学・技術の普及・活用にかかわる者として、社会、環境の多様な観点から科学・技術の役割と責任を論じ、評価することができる。

3. 授与される学位の名称

理工学研究科博士前期課程・博士後期課程の修了により授与される学位は次のとおりです。

【博士前期課程】

産業基盤プログラム	修士（工学）	Master of Engineering
社会基盤プログラム	修士（工学）	Master of Engineering
数理情報プログラム	修士（数理情報学）	
		Master of Science in Mathematics and Computer Science
自然科学基盤プログラム	修士（理学）	Master of Science
アジア防災学特別プログラム	修士（工学）	Master of Engineering
地域エンジニア養成プログラム	修士（工学）	Master of Engineering

【博士後期課程】

博士（工学／数理情報学／理学）*1

Doctor of

Engineering / Philosophy in Mathematics and Computer Science / Science

*1 学位の名称は、選択した博士特別研究の基盤分野、学位論文の研究内容に沿って定められる。

4. 学位論文審査基準

【博士前期課程】

修士の学位を授与される者は、理工学の一分野に関して、主体的に研究・開発活動を実施できるレベルの高度な専門知識・技能・倫理観を有し、高度専門職業人、技術者、研究者として自律的に発展することができる資質を持つことが求められる。学位論文（修士）は、理工学研究科で学んだ成果の集大成であり、十分な活動成果を適切に示すことで学位にふさわしい資質を有することを証明するものであることが要求される。博士前期課程の修了要件の一つとなる学位論文は、以下の項目について審査される。

1. 学位申請者が主体的に実施した調査・研究・開発活動に関する成果をもとに、申請者自身が作成したものであること。
2. 適切なテーマが設定され、その目的に沿った方法で調査・研究・開発活動が適切に実施されていること。
3. 十分な結果や成果が得られており、それに基づいた適切な議論や考察がなされていること。

4. 論文が、研究倫理と当該専門分野が定める要請に則り、適切な形式・構成で記述されていること。

【博士後期課程】

博士の学位を授与される者は、理工学の一分野に関して、科学・技術を切り拓く先導的な研究・開発活動を実施できるレベルの高度な専門能力と幅広い総合力に基づく学識を有し、自立した研究者・技術者として、広く社会や環境の諸問題に科学・技術の側面から関わり、貢献することができる資質を持つことが求められる。学位論文(博士)は、理工学研究科で学んだ成果の集大成であり、新規性あるいは独創性を含む十分な活動成果を適切に示すことで学位にふさわしい資質を有することを証明するものであることが要求される。博士後期課程の修了要件の一つとなる学位論文は、以下の項目について審査される。

1. 学位申請者が実施した研究・開発活動に関する成果をもとに、申請者自身が作成したものであること。
2. 学術的に意義のあるテーマが設定され、その目的に沿って研究・開発活動が適切に実施されていること。
3. 新規性・独創性を含む十分な結果や成果が得られており、それに基づいた適切な議論や考察がなされていること。
4. 論文が、研究倫理と当該専門分野が定める要請に則り、適切な形式・構成で記述されていること。